

[illegible]

一般	選択	基礎科目応用第一	LK115 1	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	基礎科目応用第二	LK115 2	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	基礎科目応用第三	LK115 3	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	特別学習第一	LK115 4	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	特別学習第二	LK115 5	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	地域社会活動二	LK115 6	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	地域社会活動一	LK115 7	学修単位	1	0.5 0.5																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	国際・異文化理解	LK115 8	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	国際・異文化理解	0020	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																小田川裕之, 教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	基礎科目応用	0021	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																小田川裕之, 教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	特別学習	0022	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																小田川裕之, 教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	チャレンジセミナー	LK215 1	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																小田川裕之, 教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	チャレンジセミナー	LK215 1	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																小田川裕之, 教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	国際・異文化理解	LK215 2	学修単位	1	<div> <div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div colspan="2">集中講義</div><div></div><div></div><div></div><div></div> </div>																小田川裕之, 教務係（または非常勤講師）	

一般	選択	基礎科目応用	LK215 3	学修単位	1													集中講義						小田川裕之,教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	特別学習	LK215 4	学修単位	1													集中講義						小田川裕之,教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	チャレンジセミナー	LK215 1	学修単位	1														集中講義					小田川裕之,教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	国際・異文化理解	LK215 2	学修単位	1														集中講義					小田川裕之,教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	基礎科目応用	LK215 3	学修単位	1														集中講義					小田川裕之,教務係（または非常勤講師）	
一般	選択	特別学習	LK215 4	学修単位	1														集中講義					小田川裕之,教務係（または非常勤講師）	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	HR
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	共通教育科 (熊本)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	必要に応じてプリント等					
担当教員	石田 明男					
到達目標						
ホームルーム活動を通じてより良い自己とクラスの実現に向けて能動的に努力する姿勢と行動力を身に付けることが目標である。 到達目標は、下記を設定する。 1. 集団活動：クラス目標や計画立案・共同生活における集団づくりや、学校行事および学生会行事における集団活動への積極的姿勢と行動力 2. 個人研鑽：視野の拡大(他者の話の傾聴、職業観や校外見学など)、勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題など望ましい生き方に関すること、将来目標の設定						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
出席状況	ほとんどのホームルーム活動に参加している		ホームルーム活動に出席しないことが稀である		ホームルームの活動に著しく出席していない	
活動－集団活動	ホームルーム内での集団づくりや活動において主体的かつ積極的に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加できない	
活動－個人研鑽	自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができ、実際に行動に移すことができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 4-1						
教育方法等						
概要	高専では、授業科目の他に特別活動の実施があります。特別活動は、全学年を対象にした各種行事(学生会活動を含む)と1年から3年までの学生を対象にしたホームルームの二つに分けられます。 全学年を対象にした特別活動は、入学式、卒業式、始業式、終業式、全校集会、学生会活動(対面式、クラブ紹介、クラスマッチ、電波祭およびその準備等)。 本シラバスでは、ホームルームに関する内容について主に記載する。					
授業の進め方・方法	ホームルームは、週1回、授業時間割の中で実施され、次に示すような内容を取り上げる。 1. 学年別共通テーマ：ホームルームの計画立案、学校行事および学生会行事に関すること、休業中の反省と新年の豊富 2. ホームルームとしての共同生活に関すること：ホームルーム内の集団づくりのための諸行事(校外見学等) 3. 人間として望ましい生き方に関する問題：勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題 4. 将来の進路についての問題：進路の決定と学修、職業観と職場について 5. レクリエーション：各種スポーツ、音楽鑑賞、映写会、読書会、ゲーム 6. 校長講話、主事・学科長の話、先生の話 7. その他					
注意点	ホームルームは50分で実施する。 ホームルームを含む特別活動については、出席状況が、実施時数の5分の1以下(長期病欠者および三ヶ月以下の短期留学者は3分の1以下)の欠課、かつ活動良好なものについて「合格」と認定されます。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				

	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合						
			出席・活動状況		合計	
総合評価割合			100		100	
参加状況			100		100	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	HR
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分		一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科	共通教育科（熊本）		対象学年		1	
開設期	通年		週時間数		1	
教科書/教材	必要に応じてプリント等					
担当教員	高木 朝子					
到達目標						
ホームルーム活動を通じてより良い自己とクラスの実現に向けて能動的に努力する姿勢と行動力を身に付けることが目標である。 到達目標は、下記を設定する。 1. 集団活動：クラス目標や計画立案・共同生活における集団づくりや、学校行事および学生会行事における集団活動への積極的姿勢と行動力 2. 個人研鑽：視野の拡大(他者の話の傾聴、職業観や校外見学など)、勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題など望ましい生き方に関すること、将来目標の設定						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
出席状況		ほとんどのホームルーム活動に参加している	ホームルーム活動に出席しないことが稀である		ホームルームの活動に著しく出席していない	
活動－集団活動		ホームルーム内での集団づくりや活動において主体的かつ積極的に参加している	ホームルーム内での集団づくりや活動に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加できない	
活動－個人研鑽		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができ、実際に行動に移すことができる。	自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		高専では、授業科目の他に特別活動の実施があります。特別活動は、全学年を対象にした各種行事(学生会活動を含む)と1年から3年までの学生を対象にしたホームルームの二つに分けられます。 全学年を対象にした特別活動は、入学式、卒業式、始業式、終業式、全校集会、学生会活動(対面式、クラブ紹介、クラスマッチ、電波祭およびその準備等)。 本シラバスでは、ホームルームに関する内容について主に記載する。				
授業の進め方・方法		ホームルームは、週1回、授業時間割の中で実施され、次に示すような内容を取り上げる。 1. 学年別共通テーマ：ホームルームの計画立案、学校行事および学生会行事に関すること、休業中の反省と新年の豊富 2. ホームルームとしての共同生活に関すること：ホームルーム内の集団づくりのための諸行事(校外見学等) 3. 人間として望ましい生き方に関する問題：勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題 4. 将来の進路についての問題：進路の決定と学修、職業観と職場について 5. レクリエーション：各種スポーツ、音楽鑑賞、映画会、読書会、ゲーム 6. 校長講話、主事・学科長の話、先生の話 7. その他				
注意点		ホームルームは50分で実施する。 ホームルームを含む特別活動については、出席状況が、実施時数の5分の1以下(長期病欠者および三ヶ月以下の短期留学者は3分の1以下)の欠課、かつ活動良好なものについて「合格」と認定されます。				
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		出席・活動状況		合計	
総合評価割合		100		100	
参加状況		100		100	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	HR
科目基礎情報					
科目番号	0003		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	共通教育科（熊本）		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	1	
教科書/教材	必要に応じてプリント等				
担当教員	堀本 博				
到達目標					
ホームルーム活動を通じてより良い自己とクラスの実現に向けて能動的に努力する姿勢と行動力を身に付けることが目標である。 到達目標は、下記を設定する。 1. 集団活動：クラス目標や計画立案・共同生活における集団づくりや、学校行事および学生会行事における集団活動への積極的姿勢と行動力 2. 個人研鑽：視野の拡大(他者の話の傾聴、職業観や校外見学など)、勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題など望ましい生き方に関すること、将来目標の設定					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
出席状況	ほとんどのホームルーム活動に参加している		ホームルーム活動に出席しないことが稀である		ホームルームの活動に著しく出席していない
活動－集団活動	ホームルーム内での集団づくりや活動において主体的かつ積極的に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加できない
活動－個人研鑽	自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができ、実際に行動に移すことができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	高専では、授業科目の他に特別活動の実施があります。特別活動は、全学年を対象にした各種行事(学生会活動を含む)と1年から3年までの学生を対象にしたホームルームの二つに分けられます。 全学年を対象にした特別活動は、入学式、卒業式、始業式、終業式、全校集会、学生会活動(対面式、クラブ紹介、クラスマッチ、電波祭およびその準備等)。 本シラバスでは、ホームルームに関する内容について主に記載する。				
授業の進め方・方法	ホームルームは、週1回、授業時間割の中で実施され、次に示すような内容を取り上げる。 1. 学年別共通テーマ：ホームルームの計画立案、学校行事および学生会行事に関すること、休業中の反省と新年の豊富 2. ホームルームとしての共同生活に関すること：ホームルーム内の集団づくりのための諸行事(校外見学等) 3. 人間として望ましい生き方に関する問題：勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題 4. 将来の進路についての問題：進路の決定と学修、職業観と職場について 5. レクリエーション：各種スポーツ、音楽鑑賞、映画会、読書会、ゲーム 6. 校長講話、主事・学科長の話、先生の話 7. その他				
注意点	ホームルームは50分で実施する。 ホームルームを含む特別活動については、出席状況が、実施時数の5分の1以下(長期病欠者および三ヶ月以下の短期留学者は3分の1以下)の欠課、かつ活動良好なものについて「合格」と認定されます。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		出席・活動状況		合計	
総合評価割合		100		100	
参加状況		100		100	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	チャレンジセミナー	
科目基礎情報							
科目番号	LK2151			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	共通教育科（熊本）			対象学年	1		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材							
担当教員	教務係（または非常勤講師）						
到達目標							
・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、プログラミングコンテストなどで収めた優れた成績・成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。							
ルーブリック							
				達成目標			
ロボットコンテスト				地域大会優勝・準優勝、全国大会進出チームメンバー			
プログラミングコンテスト				・課題・自由部門（最優秀賞、優秀賞チームメンバー） ・競技部門（優勝、準優勝、第三位チームメンバー）			
デザインコンペティション				各部門 最優秀賞、優秀賞（チームメンバー）			
英語プレゼンテーションコンテスト				・個人部門 地区大会1位入賞者及び全国大会1位から3位入賞者 ・チーム部門 地域大会1位入賞チームメンバー及び全国大会1位から3位チームメンバー			
廃炉創造ロボコン				最優秀賞、優秀賞 チームメンバー			
各種学術・アイデアコンテスト（教務委員会審議により認可）				地区大会1位入賞（チームメンバー） 全国大会1、2位入賞（チームメンバー）			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動及びコンテストでのチャレンジ的な努力を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、プログラミングコンテストなど（教務委員会認可）学術・アイデアコンテストの優れた成果・成績が認められた場合に、単位の修得を認定する。 ・この科目は1単位を上限とする。					
授業の進め方・方法		対象コンテストの性質、地域・全国大会と該当上位入賞レベルは教務委員会で検討し判断する。					
注意点		・修得認定は上記の活動について申請することによって科目の修得が認定される。 ・単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 ・上記以外で、類似すると思われる学修活動の単位修得については、教務委員会で検討し、該当すると判断されたなら、1単位として認めることがある。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
		活動時間	合計	
総合評価割合		0	0	
基礎的能力		0	0	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国際・異文化理解	
科目基礎情報							
科目番号	LK2152		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	共通教育科（熊本）		対象学年	1			
開設期	集中		週時間数				
教科書/教材	担当教員作成による資料配付						
担当教員	教務係（または非常勤講師）						
到達目標							
異文化理解とその活用力について知るために次の3項目を具体的な目標とする。 (1)多様な文化、多様な価値観の存在を理解し説明できる。 (2)上記の「差異」について柔軟な対応とは何かを説明できる。 (3)「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	体験を通して異なる文化や価値観が存在することを理解し、説明できる。		知識として異なる文化や価値観が存在することを理解している。		多様な文化，価値観の存在に気づけない。		
評価項目2	「差異」について柔軟な対応とは何かを説明でき、対応例を挙げられる。		「差異」について柔軟な対応とは何かを説明できる。		「差異」について柔軟な対応とは何かを説明できない。		
評価項目3	「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明でき、相乗効果を引き出す例やアイデアについて説明できる。		「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明できる。		「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	世界の諸地域の人々との相互依存関係にあることを認識し、共生・共存のために文化の多様性と豊かさを肯定的に捉えることと、世界における日本、日本における世界との関係を考える。 本科目では、以下の2つの取り組みについて評価し、いずれか一方に取り組めば良い。 1) 集中講義形式による座学を通して知識を得る 2) 協定校等海外学生受け入れプログラムに参加することで、体験を通して異文化理解に努める						
授業の進め方・方法	1) 課題発表とレポートにより評価する。評価の比率は課題発表が50%、レポート50%とする。総合評価の得点率が60%以上を合格とする。 2) 事前研修・準備に参加した時間及び受け入れプログラム参加時間の合計が30時間以上で合格とする。						
注意点	この講義はPBL方式を導入して行うため、チーム内の協調や課題の解決方法に関する発表などが要求される。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	国際的な活動を行なっている講師などを招聘し、講演を聴講する。			講演内容を理解し、海外の社会情勢および文化等についての知識に基づいて行動することができる。	
		2週	以降、開講期間に合わせた活動を行う。				
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					

		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		レポート	課題発表	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	50	100	
実践能力		0	0	0	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度（2020年度）		授業科目	基礎科目応用
科目基礎情報						
科目番号	LK2153			科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	共通教育科（熊本）			対象学年	1	
開設期	集中			週時間数		
教科書/教材						
担当教員	教務係（または非常勤講師）					
到達目標						
・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・資格取得が複数学年に渡った場合でも、複数の資格を組み合わせた場合でも申請できる。 ・1単位の修得に要する換算単位時間は30単位時間以上とする。余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 ・同種に資格については、級が異なる場合は1度のみ申請できる。						
ルーブリック						
対象となる資格試験				一覧表（ http://www.kumamoto-nct.ac.jp/file/syllabus/k/2016/LK151-table.html ）を参照のこと。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、漢字検定や実用英語検定などの資格取得があった場合に、単位の修得を認定する。但し、この修得単位は学生自身からの申請に基づき認定される。					
授業の進め方・方法	・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・資格取得が複数学年に渡った場合でも、複数の資格を組み合わせた場合でも申請できる。 ・1単位の修得に要する換算単位時間は30単位時間以上とする。余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 ・同種に資格については、級が異なる場合は1度のみ申請できる。					
注意点	修得認定は上記の資格試験について、本校在学中に取得した場合には、各自の単位認定申請により、資格取得年度の単位として認定を行うものとする。認定された取得資格に相当する換算単位時間の合計が30単位時間以上の場合、単位申請を行うことによって、科目の修得が認定される。単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 授業科目との関連性があり、低学年から積極的に取り組むことが大切である。上記以外で、類似すると思われる資格取得の単位修得については、共通教育科の申し出により、教務委員会で検討し、相当する換算単位時間を定め、科目の修得を認めることがある。					
授業計画						
		週	授業内容			週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		対象となる資格の取得		合計	
総合評価割合		0		0	
基礎的能力		0		0	
専門的能力		0		0	
分野横断的能力		0		0	

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	特別学習
科目基礎情報						
科目番号	LK2154			科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	共通教育科（熊本）			対象学年	1	
開設期	集中			週時間数		
教科書/教材						
担当教員	教務係（または非常勤講師）					
到達目標						
・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、ボランティア、特別講義などの成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。						
ルーブリック						
	時数			達成目標		
ロボットコンテスト	30			チームメンバー（30単位時間以上の活動）		
プログラミングコンテスト	30			チームメンバー（30単位時間以上の活動）		
デザインコンペティション	30			チームメンバー（30単位時間以上の活動）		
廃炉創造ロボコン	30			チームメンバー（30単位時間以上の活動）		
環境ボランティア	30			30単位時間以上の活動		
ボランティア	30			30単位時間以上の活動		
バイク講習会学生指導員ボランティア	30			30単位時間以上の活動		
特別講義等	30			30単位時間以上の活動		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、ボランティア、特別講義などの成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。 ・学習活動の蓄積で評価されるので、低学年の内から積極的に取り組むことが大切である。 ・この科目は1単位を上限とする。					
授業の進め方・方法	・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・活動が複数の学年に渡った場合、前年度のものとの合算であれば申請できる。 ・複数の活動を組み合わせた場合でも申請できる。 ・余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 規定授業時数＝換算単位時間					
注意点	・修得認定は上記の活動について各換算単位時間を設定し、それらの合計が30単位時間以上で申請することによって科目の修得が認定される。 ・単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 ・上記以外で、類似すると思われる学修活動の単位修得については、教務委員会で検討し、該当すると判断されたなら、単位時間に換算し、30単位時間以上で1単位として認めることがある。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		活動時間		合計	
総合評価割合		0		0	
基礎的能力		0		0	

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	HR
科目基礎情報						
科目番号	0010			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	共通教育科（熊本）			対象学年	2	
開設期	通年			週時間数	1	
教科書/教材	必要に応じてプリント等					
担当教員	楠元 実子					
到達目標						
ホームルーム活動を通じてより良い自己とクラスの実現に向けて能動的に努力する姿勢と行動力を身に付けることができる。 到達目標は、下記を設定する。 1. 集団活動：クラス目標や計画立案・共同生活における集団づくりや、学校行事および学生会行事における集団活動への積極的姿勢と行動力を示すことができる。 2. 個人研鑽：視野の拡大(他者の話の傾聴、職業観や校外見学など)、勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題など望ましい生き方に関すること、将来目標の設定ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
出席状況	ほとんどのホームルーム活動に参加している		ホームルーム活動に出席しないことが稀である		ホームルームの活動に著しく出席していない	
活動－集団活動	ホームルーム内での集団づくりや活動において主体的かつ積極的に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加している		ホームルーム内での集団づくりや活動に参加できない	
活動－個人研鑽	自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができ、実際に行動に移すことができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができる。		自身の将来や人として望ましい生き方について考えることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	高専では、授業科目の他に特別活動の実施があります。特別活動は、全学年を対象にした各種行事(学生会活動を含む)と1年から3年までの学生を対象にしたホームルームの二つに分けられます。全学年を対象にした特別活動は、入学式、卒業式、始業式、終業式、全校集会、学生会活動(対面式、クラブ紹介、クラスマッチ、電波祭およびその準備等)。本シラバスでは、ホームルームに関する内容について主に記載する。					
授業の進め方・方法	ホームルームは、週1回、授業時間割の中で実施され、次に示すような内容を取り上げる。 1. 学年別共通テーマ：ホームルームの計画立案、学校行事および学生会行事に関すること、休業中の反省と新年の豊富 2. ホームルームとしての共同生活に関すること：ホームルーム内の集団づくりのための諸行事(校外見学等) 3. 人間として望ましい生き方に関する問題：勉強とクラブ活動、交通道德、先生と学生、青年期の諸問題 4. 将来の進路についての問題：進路の決定と学修、職業観と職場について 5. レクリエーション：各種スポーツ、音楽鑑賞、映写会、読書会、ゲーム 6. 校長講話、主事・学科長の話、先生の話 7. その他					
注意点	ホームルームは50分で実施する。 ホームルームを含む特別活動については、出席状況が、実施時数の5分の1以下(長期病欠者および三ヶ月以下の短期留学者は3分の1以下)の欠課、かつ活動良好なものについて「合格」と認定される。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	HR1		出席し、良好に活動する	
		2週	HR2		出席し、良好に活動する	
		3週	HR3		出席し、良好に活動する	
		4週	HR4		出席し、良好に活動する	
		5週	HR5		出席し、良好に活動する	
		6週	HR6		出席し、良好に活動する	
		7週	HR7		出席し、良好に活動する	
		8週	HR8		出席し、良好に活動する	
	2ndQ	9週	HR9		出席し、良好に活動する	
		10週	HR10		出席し、良好に活動する	
		11週	HR11		出席し、良好に活動する	
		12週	HR12		出席し、良好に活動する	
		13週	HR13		出席し、良好に活動する	
		14週	HR14		出席し、良好に活動する	
		15週	HR15		出席し、良好に活動する	
		16週	HRその他		出席し、良好に活動する	
後期	3rdQ	1週	HR1		出席し、良好に活動する	
		2週	HR2		出席し、良好に活動する	
		3週	HR3		出席し、良好に活動する	
		4週	HR4		出席し、良好に活動する	
		5週	HR5		出席し、良好に活動する	

		6週	HR6	出席し、良好に活動する
		7週	HR7	出席し、良好に活動する
		8週	HR8	出席し、良好に活動する
	4thQ	9週	HR9	出席し、良好に活動する
		10週	HR10	出席し、良好に活動する
		11週	HR11	出席し、良好に活動する
		12週	HR12	出席し、良好に活動する
		13週	HR13	出席し、良好に活動する
		14週	HR14	出席し、良好に活動する
		15週	HR15	出席し、良好に活動する
		16週	HRその他	出席し、良好に活動する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合		
	出席・活動状況	合計
総合評価割合	100	100
参加状況	100	100

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	基礎科目応用第一	
科目基礎情報							
科目番号	LK1151			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	共通教育科（熊本）			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	0.5		
教科書/教材							
担当教員	教務係（または非常勤講師）						
到達目標							
・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・資格取得が複数学年に渡った場合でも、複数の資格を組み合わせた場合でも申請できる。 ・1単位の修得に要する換算単位時間は30単位時間以上とする。余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 ・同種に資格については、級が異なる場合は1度のみ申請できる。							
ルーブリック							
対象となる資格試験				一覧表（ http://www.kumamoto-nct.ac.jp/file/syllabus/k/2016/LK151-table.html ）を参照のこと。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、漢字検定や実用英語検定などの資格取得があった場合に、単位の修得を認定する。科目は第一、第二及び第三に分けられ、各単位数は1単位であり、最高3単位まで認められる。但し、この修得単位は学生自身からの申請に基づき認定される。またこの修得単位は卒業認定に必要な単位には含まない。						
授業の進め方・方法	・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・資格取得が複数学年に渡った場合でも、複数の資格を組み合わせた場合でも申請できる。 ・1単位の修得に要する換算単位時間は30単位時間以上とする。余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 ・同種に資格については、級が異なる場合は1度のみ申請できる。						
注意点	修得認定は上記の資格試験について、本校在学中に取得した場合には、各自の単位認定申請により、資格取得年度の単位として認定を行うものとする。認定された取得資格に相当する換算単位時間の合計が30単位時間以上の場合、単位申請を行うことによって、科目の修得が認定される。単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 授業科目との関連性があり、低学年から積極的に取り組むことが大切である。上記以外で、類似すると思われる資格取得の単位修得については、共通教育科の申し出により、教務委員会で検討し、相当する換算単位時間を定め、科目の修得を認めることがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					

		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	対象となる資格の取得	合計
総合評価割合	0	0
基礎的能力	0	0
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	特別学習第一
科目基礎情報					
科目番号	LK1154		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	共通教育科 (熊本)		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	0.5	
教科書/教材					
担当教員	教務係 (または非常勤講師)				
到達目標					
・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、ボランティア、特別講義などの成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。 ・科目は第一、第二に分けられ、各単位数は1単位である。 ・ただし、この修得単位は卒業認定に必要な単位には含まない。					
ループリック					
	時数			達成目標	
ロボットコンテスト	30			チームメンバー	
プログラミングコンテスト	30			チームメンバー	
特別講義等	30			30単位時間以上の活動	
特別講義等	実単位時間			30単位時間未満の活動	
環境ボランティア	30			30単位時間以上の活動	
環境ボランティア	実単位時間			30単位時間未満の活動	
バイク講習会学生指導員ボランティア	30			30単位時間以上の活動	
バイク講習会学生指導員ボランティア	実単位時間			30単位時間未満の活動	
ボランティア	30			30単位時間以上の活動	
ボランティア	実単位時間			30単位時間未満の活動	
廃炉創造ロボコン	30			30単位時間以上の活動	
廃炉創造ロボコン	実単位時間			30単位時間未満の活動	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	・この科目は個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学習活動を評価するものである。 ・学生が自発的に行う学習活動で、教育上有益と認められるものについて、ロボットコンテスト、ボランティア、特別講義などの成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。 ・学習活動の蓄積で評価されるので、低学年の内から積極的に取り組むことが大切である。 ・科目は第一、第二に分けられ、各単位数は1単位である。 ・ただし、この修得単位は卒業認定に必要な単位には含まない。				
授業の進め方・方法	・単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・活動が複数の学年に渡った場合、前年度のものとの合算であれば申請できる。 ・複数の活動を組み合わせた場合でも申請できる。 ・余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 規定授業時数＝換算単位時間				
注意点	・修得認定は上記の活動について各換算単位時間を設定し、それらの合計が30単位時間以上で申請することによって科目の修得が認定される。 ・履修単位に応じて、特別学習第一、および第二のいずれか一方または両方を選択でき、単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 ★ただし、同種の活動はいずれか一方の申請にしか使用できず、特別学習第一と第二の両方に申請することはできない。 ・上記以外で、類似すると思われる学修活動の単位修得については、教務委員会で検討し、該当すると判断されたなら、単位時間に換算し、30単位時間以上で1単位として認めることがある。				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			

		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
			活動時間	合計	
総合評価割合			0	0	
基礎的能力			0	0	

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	地域社会活動一	
科目基礎情報							
科目番号		LK1157		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		実験・実習		単位の種別と単位数		学修単位: 1	
開設学科		共通教育科 (熊本)		対象学年		2	
開設期		通年		週時間数		0.5	
教科書/教材							
担当教員		教務係 (または非常勤講師)					
到達目標							
・ 単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・ 活動が複数の学年に渡った場合、前年度のものとの合算であれば申請できる。 ・ 複数の活動を組み合わせた場合でも申請できる。 ・ 余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。 規定授業時数＝換算単位時間							
ループリック							
地域社会における行事に関する活動および、科学技術活動				30単位時間以上の活動			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		この科目は、個性を伸ばす教育の一つとして、各自の積極的な学修活動を評価するものである。 学生が自発的に行う学修活動で、教育上有益と認められるものについて、学外での各種科学技術活動や地域での行事に関する活動などについて成果が認められた場合に、単位の修得を認定する。 科目は一、二に分けられ、各単位は1単位である。 ただし、この修得単位は卒業認定に必要な単位には含めない。					
授業の進め方・方法		・ 単位の認定申請は1～5年の各学年で可能である。 ・ 活動が複数の学年に渡った場合、前年度のものとの合算であれば申請できる。 ・ 複数の活動を組み合わせた場合でも申請できる。 ・ 余った換算時間数は他の単位申請には使用できない。					
注意点		・ 修得認定は、上記の活動について各換算単位時間を設定し、それらの合計が30単位時間以上で申請することによって科目の修得が認定される。 ・ 履修単位に応じて、地域社会活動一及び二のいずれか一方または両方を選択でき、単位の修得を認定されたものの評価は「S」とする。 ・ ロボコン、環境ボランティアなどの校内活動は特別学習で申請することとする。 ・ 上記以外で、類似すると思われる学修活動の単位修得については、教務委員会で検討し該当すると判断されたら、単位時間に換算し、30単位時間以上で1単位として認めることがある。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					

		14週		
		15週		
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
		試験	合計	
総合評価割合		0	0	
基礎的能力		0	0	
専門的能力		0	0	
分野横断的能力		0	0	

熊本高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	国際・異文化理解	
科目基礎情報							
科目番号	LK1158			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	共通教育科（熊本）			対象学年	2		
開設期	集中			週時間数			
教科書/教材	担当教員作成による資料配付						
担当教員	教務係（または非常勤講師）						
到達目標							
異文化理解とその活用力について知るために次の3項目を具体的な目標とする。 (1)多様な文化、多様な価値観の存在を理解し説明できる。 (2)上記の「差異」について柔軟な対応とは何かを説明できる。 (3)「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	体験を通して異なる文化や価値観が存在することを理解し、説明できる。			知識として異なる文化や価値観が存在することを理解している。		多様な文化、価値観の存在に気づけない。	
評価項目2	「差異」について柔軟な対応とは何かを説明でき、対応例を挙げられる。			「差異」について柔軟な対応とは何かを説明できる。		「差異」について柔軟な対応とは何かを説明できない。	
評価項目3	「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明でき、相乗効果を引き出す例やアイデアについて説明できる。			「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明できる。		「差異」を認識し、相乗効果を引き出すことの重要性を説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	世界の諸地域の人々との相互依存関係にあることを認識し、共生・共存のために文化の多様性と豊かさを肯定的に捉えることと、世界における日本、日本における世界との関係を考える。 本科目では、以下の2つの取り組みについて評価し、いずれか一方に取り組めば良い。 1) 集中講義形式による座学を通して知識を得る 2) 協定校等海外学生受け入れプログラムに参加することで、体験を通して異文化理解に努める ・ただし、この修得単位は卒業認定に必要な単位には含めない。						
授業の進め方・方法	1) 課題発表とレポートにより評価する。評価の比率は課題発表が50%、レポート50%とする。総合評価の得点率が60%以上を合格とする。 2) 事前研修・準備に参加した時間及び受け入れプログラム参加時間の合計が30時間以上で合格とする。						
注意点	この講義はPBL方式を導入して行うため、チーム内の協調や課題の解決方法に関する発表などが要求される。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	国際的な活動を行なっている講師などを招聘し、講演を聴講する。		講演内容を理解し、海外の社会情勢および文化等についての知識に基づいて行動することができる。		
		2週	以降、開講期間に合わせた活動を行う。				
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					

		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		レポート	課題発表	合計	
総合評価割合		50	50	100	
基礎的能力		50	50	100	
実践能力		0	0	0	